

ALT



こんにちは
ローニー・トムスン
外国語指導助手 (ALT)
です

ローニー先生、三か国語できますか？

今日は五條の皆さん、この前の西吉野モンスターの記事を多くの方が読んでくれてうれしいです。僕は日本に来てからカッパとか火の玉とかゲゲの鬼太郎に出てくるいろいろな妖怪とか、日本のお化けに興味を持っています。カナダにはこういうものはいませんが、ビッグフット（大足）がいます。森に住んでいてとても大きくて背が2メートル50センチ近くあり、全身茶色の毛で覆われているのです。またカナダの北の方の雪が多い地方には、ビッグフットとほとんど同じなんですが、毛が白いイエティというのが住んでいます。

さて話題が変わって言語についてです。日本では公用語は日本語ですが、カナダでは英語とフランス語が公用語です。カナダのほとんどの人は英語を話しています。フランス語ができる人は全体の4分の1ぐらいしかいません。両方できる人は15%ぐらいです。そして僕はその15%に入ります。というのは子供時代のひと時をカナダのフランス語圏ケベックで過ごし、大学もケベックにあったからです。

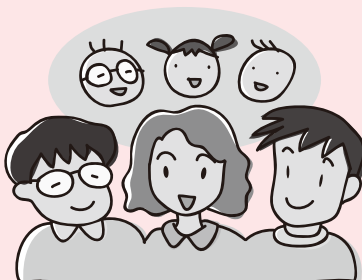
カナダで両方の言語が使えることはうれしいことなのですが、今年の夏、日本でこの特技を生かすという素晴らしい経験をしました。京都の画廊経営者、カナダから来た僕の友達ケイティー、僕との三人で名古屋へ行ったのです。そこである陶芸家に会いました。その人は日本語しか話せません。そこに2人の画廊経営者がフランスから来ていました。彼の作品を見て良いのがあればいくつかを購入し、フランスに持ち帰るためです。フランス人の1人は少し英語ができます。京都の画廊経営者も少し英語ができます。だからその場にいる人の中でほかのすべての人とたやすくコミュニケーションできるのは僕だけだったんです。最初に僕たちはギャラリーへ行き、次にアトリエに行きました。僕はフランス語から日本語と英語に、日本語から英語とフランス語に、英語から日本語とフランス語に通訳しました。僕にとっては素晴らしい体験で、みんなの役に立ててとてもうれしかったです。僕はみなさんも中国語でも韓国語でもドイツ語でも英語でも何でも良いから第二の言語を話せるように努力するべきだと思います。外国語を恐れたりしり込みしてはいけません。そうではなくて積極的に話し、理解しようと努力すべきだと思います。そうすると旅行や、そのほかのいろんな実践の中で、いつのまにかコミュニケーションできるようになりますよ。頑張ってくださいね！

*この記事は、ALTの書いた英文を訳したものです。
英語版は中央公民館にあります。

安心・安全な街 五條

みんなで守る 子どもの笑顔

気をかけ 目をかけ 声をかけ
子どもたちを見守ろう



■問合先 青少年センター ☎24・3004